

“術後遠隔感染(Post-operative Remote Infection:PRI)が与える
在院日数と直接医療費への影響の調査研究”への参画のお願い

日本外科感染症学会
会員各位

日本外科感染症学会
臨床治験委員会
担当理事 草地信也
委員長 竹山廣光

平素よりお世話になっております。

日本外科感染症学会臨床治験委員会では2010年に“手術部位感染が与える在院に数と直接医療費への影響調査”を研究し、すでに報告してきました。このたび、対象を消化器手術後の遠隔感染症として、新たに“術後遠隔感染(Post-operative Remote Infection:PRI)が与える在院日数と直接医療費への影響の調査研究”を開始いたします。

本研究は、2014年3月1日から2016年2月末日までの消化器外科手術症例で、術後遠隔感染症（術後肺炎、尿路感染症、カテーテル感染症、抗菌薬関連性腸炎であるMRSA腸炎およびC,difficile腸炎、他）の発症例を対象としています。術後遠隔感染症の医療費に関する研究は国内、国外とも行われておらず、大変貴重な報告となると考えます。

ご提出いただくデータは、術後遠隔感染症を発症した症例とともに同患者年齢、同術式、同時期の非感染症例のEファイルデータと症例対照表です。詳細につきましては別資料を郵送いたします。

本研究データの主解析結果は委員会から報告いたしますが、サブ解析につきましてはデータ提出施設のアイデアを頂き、解析・学会発表・論文報告を各施設にお願いしたいと考えます。テーマが重複した場合は登録症例数の多い施設を優先とする予定ですが、委員会を開催して決定いたします。どうぞ御参加ください。

参加希望の皆様へ

参加方法：代表者へメールにて応募し、資料・データ郵送用USBメモリーを請求する。データ保存後、代表者へ郵送する。

データ集積期間：2016年8月末日まで

説明会：第71回日本消化器外科学会総会（徳島）2016年7月14日（木）～16日（土）
会期中に開催予定*。*学会運営事務局に申請中です。

報告会・分担検討会：第29回学術集会（会期：2016年11月30日（水）～12月1日（木）

会場：東京京王プラザホテル) 会期中に開催予定
研究代表者：草地信也

〒153-8515 東京都目黒区大橋 2-17-6 東邦大学医療センター大橋病院 外科

参加申し込み、資料請求、本研究のお問い合わせなど:

西牟田浩伸 (集計・解析担当：東邦大学医療センター大橋病院外科)

hironobu.nishimuta@med.toho-u.ac.jpまで

記載事項

1. お名前、2.メールアドレス (フリーメールはご遠慮ください)、3.御所属施設・部署・役職、4.所属先のご住所、5.電話番号

*参加申し込みには、上記を表記の上、メールにてご連絡ください。

なお、参加申し込みは平成 28 年 8 月末日のデータ集積期間内に発送が可能であればいつでも受け付けます。